

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東大

上場会社名 駒井鉄工株式会社

コード番号 5915 URL <http://www.komai.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 佐々木裕之

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

TEL 03-3833-5101

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	12,102	819.7	8	—	△1	—	△11	—
21年3月期第1四半期	1,315	—	△646	—	△607	—	△603	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.32	—
21年3月期第1四半期	△16.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	60,332	24,811	41.1	700.91
21年3月期	63,445	24,701	38.9	697.77

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 24,811百万円 21年3月期 24,701百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	26,300	35.9	140	—	40	—	0	—	0.00
連結累計期間	49,500	△16.6	320	△51.1	180	△73.8	70	△80.7	1.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	36,432,711株	21年3月期	36,432,711株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,034,520株	21年3月期	1,031,717株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	35,400,110株	21年3月期第1四半期	35,708,496株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁は、近年公共事業費抑制が続き発注量が減少傾向にあるなか、本年4月に追加経済対策が発表され、事業の前倒し発注や道路整備の促進などが期待されたものの、当第1四半期は低水準で推移いたしました。一方鉄骨は、景気悪化により設備投資計画の延期・中止が相次ぎ、地方都市圏での需要の急激な落ち込みなど、深刻な状況が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結会計期間の受注高は、総額75億1千5百万円（前年同四半期比16.2%減）を確保いたしました。売上高は、平成20年3月以前に受注した大型鉄骨工事が工事完成基準の適用により完成したことや、平成20年4月以降に受注した全ての工事について工事進行基準を適用したことなどにより121億2百万円（同819.7%増）と前年同四半期と比べて大幅な増収となりました。損益につきましては、コスト圧縮努力により工事採算は改善いたしました。一部大型鉄骨工事に採算の悪化が見込まれ工事損失引当金を計上したことにより、営業利益8百万円（前年同四半期は6億4千6百万円の損失）、経常損失1百万円（同6億7百万円の損失）、四半期純損失1千1百万円（同6億3百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

— 鉄構製品事業 —

(1) 橋梁

当第1四半期連結会計期間の受注高は、国土交通省関東地方整備局・南本宿ランプ橋他補修工事、千葉県・坂本2号橋その2工事他の工事で7億9千6百万円（前年同四半期比59.3%増）となりました。

完成工事高は、国土交通省近畿地方整備局・西脇大橋下部補強工事他の工事で24億7千4百万円（同187.0%増）となり、これにより当第1四半期連結会計期間末の受注残高は131億5千7百万円（同21.8%減）となっております。

(2) 鉄骨・その他

当第1四半期連結会計期間の受注高は、丸の内1-4計画、八重洲ビル新築工事他の工事で67億1千9百万円（前年同四半期比20.7%減）となりました。

完成工事高は、梅田阪急ビル建替工事他の工事で95億4千4百万円（同2,484.7%増）となり、これにより当第1四半期連結会計期間末の受注残高は239億1千5百万円（同46.1%減）となっております。

— 不動産事業 —

大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分について賃貸による有効活用を行っております。当第1四半期連結会計期間の不動産事業売上高は8千4百万円（前年同四半期比0.04%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より31億1千2百万円減少し603億3千2百万円となりました。

資産の部では、未成工事支出金が13億5千1百万円減少したことなどにより流動資産が32億9千3百万円減少し376億9千2百万円となりました。固定資産は1億8千万円増加し226億4千万円となりました。

負債の部では、工事未払金が24億4千1百万円減少したことなどにより流動負債が35億3百万円減少し310億2千4百万円となりました。固定負債は44億9千6百万円となり、負債合計は355億2千万円となりました。

純資産の部では、その他有価証券評価差額金が1億9千2百万円増加したことなどにより純資産は1億9百万円増加し248億1千1百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に発表いたしました業績予想から、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰り延べております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,181	3,056
受取手形・完成工事未収入金	17,613	18,762
未成工事支出金等	11,331	12,675
その他	6,577	6,507
貸倒引当金	△11	△17
流動資産合計	37,692	40,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,195	5,268
機械装置及び運搬具(純額)	1,358	1,426
土地	12,709	12,709
その他(純額)	172	171
有形固定資産合計	19,435	19,574
無形固定資産	56	60
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346	2,362
その他	837	498
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	3,147	2,824
固定資産合計	22,640	22,459
資産合計	60,332	63,445

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	13,648	16,984
短期借入金	6,580	6,624
未成工事受入金	7,991	7,905
工事損失引当金	954	745
引当金	58	91
その他	1,790	2,177
流動負債合計	31,024	34,528
固定負債		
長期借入金	1,173	1,080
繰延税金負債	2,065	1,861
退職給付引当金	1,027	1,022
引当金	9	8
その他	220	241
固定負債合計	4,496	4,215
負債合計	35,520	38,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	6,273	6,270
利益剰余金	11,447	11,532
自己株式	△292	△292
株主資本合計	24,048	24,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	757	564
為替換算調整勘定	6	6
評価・換算差額等合計	763	570
純資産合計	24,811	24,701
負債純資産合計	60,332	63,445

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
完成工事高	1,315	12,102
完成工事原価	1,361	11,527
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	△45	575
販売費及び一般管理費	601	566
営業利益又は営業損失(△)	△646	8
営業外収益		
受取配当金	28	18
受取家賃	—	7
材料屑売却益	31	5
雑収入	16	5
営業外収益合計	76	37
営業外費用		
支払利息	33	44
雑支出	2	3
営業外費用合計	36	47
経常損失(△)	△607	△1
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除売却損	4	5
その他	0	0
特別損失合計	4	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△612	△1
法人税、住民税及び事業税	5	24
法人税等調整額	△14	△15
法人税等合計	△9	9
四半期純損失(△)	△603	△11

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報
【受注及び販売の状況】

(1) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁	500	5.6	796	10.6	10,418	22.1
	鉄骨・その他	8,468	94.4	6,719	89.4	36,699	77.9
	合計	8,969	100.0	7,515	100.0	47,117	100.0

項目	前年同四半期 連結累計期間 (平成20年6月30日現在)		当第1四半期 連結累計期間 (平成21年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁	16,824	27.5	13,157	35.5	14,835	35.7
	鉄骨・その他	44,408	72.5	23,915	64.5	26,740	64.3
	合計	61,233	100.0	37,072	100.0	41,575	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
鉄構製品事業	橋梁	862	65.5	2,474	20.4	12,770	21.5
	鉄骨・その他	369	28.1	9,544	78.9	46,267	77.9
	計	1,231	93.6	12,018	99.3	59,038	99.4
不動産事業	84	6.4	84	0.7	339	0.6	
合計	1,315	100.0	12,102	100.0	59,377	100.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。